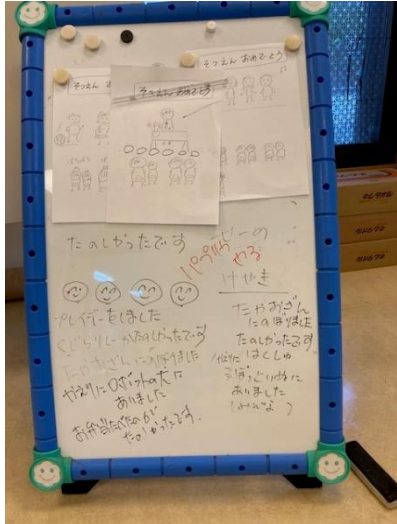


麦 笛 (第56号 令和6年2.3月)

《子ども会議》



令和6年も宜しくお願いいたします。心痛む新年のニュースに、驚かれた方も多いかと思います。災害に合われた方々の厳しい生活が早く、日常に戻ることを願います。こむぎ保育園でも避難訓練やBCP計画をさらに充実し、災害に備えていきたいと思ひます。

先日、お昼寝の前に、1時間弱、くじら組と卒園式について相談をしました。コロナ禍のため、らっこやいるかの時に、卒園式のリハーサルをみることができなかつたこともあり、まず卒園式のイメージがわからない。絵を描いて説明し、やっとなんとなくわかつてきた様子。そこでみんなに「園長先生のあいさつを一緒に考えてほしいんだけど」と提案。いろいろな意見がでて、あっという間に、内容が決まりました。

いま子ども達の人権が世界でも大きく取り上げられています。子ども達主体の活動は、非認知能力を伸ばし、それが生きる力になっていきます。行事についても、たとえそれがうまくいかなかったとしても、「自分たちで考えてやってみた」ということが、とても大事だと考えます。そしてこむぎ保育園のこどもたちには、どの年齢でも、方法を工夫することで、その力を発揮できると考えます。卒園式を楽しみにしててください。

園芸係 (担当: 野口 神谷 四野宮 鹿島)

今年もくじら組がジャガイモ栽培を行いました!! 無事に成功し沢山収穫ができました。楽しそうに掘る姿が見られ大きいジャガイモに大興奮の子ども達でした。持ち帰ったジャガイモはポテトチップスやカレーなどの料理に使って食べた嬉しそうに教えてくれました。余ったジャガイモは焚火に使用する予定でいます。

